

～期日前投票所の増設について～

皆さんおはようございます。吹田新選会、足立将一、通告に従いまして個人質問させていただきます。

1点目は、投票率向上です。

私ども吹田新選会は、前回選挙の際、投票に行こうということを有権者に訴えておりました。現在吹田市における市長選挙・市議会議員選挙投票率は、徐々に向上しているとはいえ50%を下回り、有権者の二人に一人が投票を棄権しており、特に若年者層の投票率の低下は、全国的に憂慮すべき事態となっております。

市長が本年度施政方針演説で訴えられました市民の参画と協働の推進、そしてその具体策の一つであろうと考えられる地域委員会なるものを採用したところで、憲法に定められた最も公正で公平な市民参画の機会である公職選挙が活用されていないのでは、それらの政策は形骸化してしまうのではないのでしょうか。

投票率の低さの原因には、若年者層の政治離れ、居住する自治体に対する帰属意識の低下、民主主義とはいかなるものかという教育の不十分さ等、さまざま挙げられますが、今回は投票率向上に対する一手法として期日前投票所の拡大の提案をさせていただきます。

本市における大阪府知事選挙においては、平成16年期日前投票率5.0%、20年7.5%、23年11.9%、市議・市長選挙においては、平成19年7.0%、23年10%といずれも上昇傾向にあり、国政選挙においても衆参いずれも上昇しており、期日前投票所のニーズは高まっているものと推察され、それだけが原因ではないでしょうが、付随して投票率自体も向上しております。

現定期日前投票所設置箇所は、吹田市役所本庁と千里市民センターのみであり、いずれも阪急沿線の公共施設です。

しかし、期日前投票における全国的な動向を見ておきますと、平成21年、国会において商店街等頻繁に人が出入りするところへの投票所設置に関する質問が取り上げられた後、平成22年5月の参議院議員通常選挙、選挙特報第2号において総務省は各都道府県選挙管理委員会に、駅構内やショッピングセンター等頻繁に人の往来がある施設においても設置することが可能であるので、当該施設への設置について十分検討の上、積極的に措置することという通知を出し

ております。

それを踏まえ先進事例では、長野県松本市における松本駅構内、千葉県市川市におけるダイエー市川店、神奈川県横浜市泉区のイトーヨーカドーを初め、多数の自治体が駅構内やショッピングセンターに期日前投票所を設置し、投票日に投票所へ投票に行くというこれまでの投票の形ではなく、市民の生活実態に合わせ、利用しやすい期日前投票所を設置することで投票の利便性を上げ、投票率の向上あるいは投票率の低下に対する歯どめをかけようと努力されています。

特に成功を上げておられる秋田県男鹿市では、市内のショッピングセンター1カ所を含め合計10カ所に期日前投票所を設置されており、全投票者のうち59.36%と6割近い投票者が期日前投票を利用し、期日前投票を利用した人のうち、何と62.37%の方がショッピングセンターで期日前投票を行っております。

このように期日前投票所は、設置する箇所によっては大きな効果を上げ、ともすれば投票率の向上も見込めます。

期日前投票所の拡大については、人件費の増大、場所の選定等の問題があるとのことですが、まず人件費については、事務従事者に職務代理者を兼任させることや、入場券の裏面を宣誓書にすることなどによって宣誓書を書かせるスタッフを置かずに済ませるなど、人員配置の工夫によって削減が可能です。

また、場所については、我が市ではダイエーやイズミヤ、東急ハンズあるいは駅構内など人通りの多い場所への設置の可能性を模索すべきですが、早急にショッピングセンターや駅構内とまではいかなくとも、まずは阪急沿線以外の北大阪急行江坂駅徒歩3分の花とみどりの情報センター内の講習室や、JR吹田駅さんくす3番館にある観光センターを一時利用するなど、乗降者数の多い駅付近の施設であれば、費用をかけずに容易に設置できるのではないのでしょうか。

やり方次第では低コストで実現が可能ですので、有権者の投票意識を高め、また投票率向上の可能性を追求するためにも、より利便性の高い場所に期日前投票所を設置すべきであると考えますが、選挙管理委員会のお考えをお聞かせください。

吉川英次選挙管理委員会事務局長

期日前投票所の新たな設置につきましては、公職選挙法に基づき選挙管理委員会の専権事項でございますが、事務局としての考え方を御答弁申し上げます。

選挙は、公職選挙法の投票当日投票所投票主義のもと、選挙期日に投票所において投票していただくことを原則にしております。

一方、期日前投票所は、平成15年（2003年）6月の公職選挙法の改正により、仕事や用務のために投票日当日に投票に行けない方のために設けられた投票当日投票所投票主義の例外の制度でございます。

本市におきましては、平成16年（2004年）2月執行の大阪府知事選挙がその最初の選挙となったものでございますが、以来、従前の不在者投票に比べ投票手続が簡素化されたこと、また本制度が市民に広く周知されてきたことなどにより、選挙ごとに期日前投票の利用者が増加しているところでございます。

このため、選挙管理委員会事務局としましては、選挙人の皆様の利便、投票率の向上及び市役所本庁舎での期日前投票の混雑緩和などの観点から、関係部局と協議し、昨年4月執行の大阪府議会議員選挙、吹田市議会議員選挙及び市長選挙並びに昨年11月執行の大阪府知事選挙におきまして、南千里駅前に期日前投票所を増設してきたところでございます。

期日前投票所を新たに設置いたしますためには、投票の秘密が侵されることがないか、投票の秩序が確保できるか、受付等を能率的に処理できるかなどの観点から、一定面積の施設が必要となります。また、同時にその施設が投票所として一定期間優先的に利用が可能であり、かつ駅前など交通利便のよい場所が適当であることと、他の期日前投票所での二重投票を防止するため、住基ネットワークを利用した期日前投票システムにより選挙人名簿の対照を行うため、本庁舎との間に住基ネットワークが敷設されていることが必要でございます。

御提案いただいております江坂の花とみどりの情報センターでの新たな設置につきましては、当該センターは、市役所本庁舎の期日前投票所から一般的に歩いて暮らせるとされます生活圏半径2kmの範囲内にあり、仮に期日前投票所を設置いたしますと、その2km範囲内の6割程度が重複エリアとなります。また、本市は南北9.6km、東西6.4km、南北に細い地形となっており、同所で開設いたしますと、市域の南西エリアに集中することになってまいります。したがって、こういった地理的要素にも十分考慮する必要があると考えておるところでございます。

選挙管理委員会事務局としましては、期日前投票に来られる選挙人の利便の向上を図るため、次回の選挙から投票案内状の裏面に期日前投票宣誓書の様式を入れる予定をしておりますが、新たな期日前投票所につきましては、ま

ずは昨年増設しました南千里駅前での期日前投票所の利用実態や費用面も十分検証しながら、今後の対応につきましては、議員御指摘の駅構内やショッピングセンター等におけます期日前投票所の設置を含めまして、投票日当日、投票に行けない選挙人の方の利便の向上の観点からも、実施市区町村の状況調査等研究してまいりたいと考えております。

今後とも、投票環境の改善、選挙人の利便の向上に努めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(再質問)

御答弁ありがとうございます。

地理的要素の考慮という御答弁をいただきましたが、江坂駅、JR吹田駅を提案させていただいた趣旨を御理解いただいてないようなので、再度、御説明いたします。

我が市の期日前投票所は、いずれも阪急沿線です。例えば投票日に投票に行くことができない北大阪急行沿線の駅付近あるいはJR沿線の駅付近に居住のサラリーマンに市役所本庁あるいは千里市民センターに来ていただくことを考えると、交通の便からして非常にハードルの高いものとなります。通勤や帰宅の際に利用する沿線の駅に期日前投票所が設置されると、足が向きやすくなるのではないのでしょうかという提案です。実態に即しない生活圏半径2kmという概念にとらわれることなく、北大阪急行、JR利用者にとって便利な箇所の設置を積極的に考慮していただければと思います。

なお、該当箇所から徒歩10分程度、半径約700m内に居住する有権者を施設の潜在的利用者における有権者と仮定し、その人数を平成23年度市議会議員選挙及び市長選挙結果調べと地図より割り出したところ、JR吹田駅であれば2万7,000人、江坂駅であれば2万3,000人、イズミヤ千里丘店は何と約5万人、さらにJR吹田に設置した場合、影響を受ける可能性のあるJR沿線の駅から同範囲に居住する有権者は、吹田駅、岸辺、千里丘駅を合計すれば8万人、江坂と桃山台駅の合計で4万人。これだけ多くの市民にとって今よりも利便性の高い期日前投票所を設置することは、市民の政治参加を訴える我が市としては、予算をかけてでも行うべきと考えます。

御答弁の中で調査、研究をされるとのことでしたが、来年7月には参議院議員選挙がございます。いつまでに調査、研究を行い、結論を出されるのか、めどだけでもお答えください。

吉川英次選挙管理委員会事務局長 期日前投票所の再度の御質問でございますが、期日前投票所の増設はいつまでに決定する方向であるかということでございますが、先ほどもちょっと答弁させていただきましたように、今、議員のほうから御指摘がありました内容についても、我々は承知しておるところでございます。

ただし、まずその優先順位を考えた場合については、江坂あるいはJR駅前がいいということよりも、さらに交通不便地域等もございます。先ほどお話にありましたように、山田・千里丘地域等については、やはり、今、議員おっしゃられたような点からいえば、交通がさらに不便地域ではないかというふうに考えておりますので、そういった点も含めまして、今後、当然人員、予算の面はございますが、前向きに検討してまいりたいというふうに考えておりますので、よろしく申し上げます。

(再々質問)

めどをお答えいただきたかったのですが、積極的に御考慮いただけるということで、これに関する質問は終わらせていただきます。